

明日の八代^まち^ちづくり講演会
～市民協働と自治基本条例を考える～

アンケート結果

市民協働部市民活動支援課

アンケート結果

◆目次◆

1 調査概要

2 集計

(1) 一般市民対象

(2) 職員・市議会議員対象

3 考察

4 参考資料

アンケート調査表

(1) 職員・市議会議員対象

(2) 一般市民対象

1. 調査概要

(1) 概要

平成 24 年 11 月 5 日(月)一般市民・職員、11 月 6 日(火)に職員および市議会議員を対象とした講演会において、「市民協働によるまちづくり」や「自治基本条例」の理解度や必要性について、参加者を対象に直接記入方式でアンケートを実施した。

(2) 調査項目

①一般市民対象

実施日：平成 24 年 11 月 5 日（月）

対象数：274 人

(Q 1) 年代
(Q 2) 性別
(Q 3) 居住校区
(Q 4) 講演会の内容に対する理解度（3段階）
(Q 4) 自治基本条例についての理解度（3段階）
(Q 5) 自治基本条例の必要性（3段階）
(Q 6) 「協働のまちづくり」に必要なもの（複数回答・自由記入あり）
(Q 7) 意見・感想（自由記入）

②職員・市議会議員対象

実施日：平成 24 年 11 月 5 日（月）・11 月 6 日（火）

対象数：292 人

(Q 1) 年代
(Q 2) 性別
(Q 3) 講演会の内容に対する理解度（3段階・その理由）
(Q 4) 自治基本条例についての理解度（3段階）
(Q 5) 自治基本条例の必要性（3段階）
(Q 6) 「協働のまちづくり」に必要なもの（複数回答・自由記入あり）
(Q 7) 意見・感想（自由記入）

2. 集計

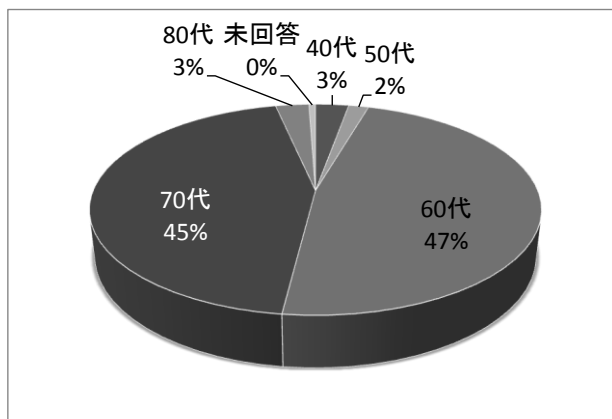
(1)一般市民対象

実施日:平成24年11月5日(月)

出席者	274
回答数	177
回答率	64.60%

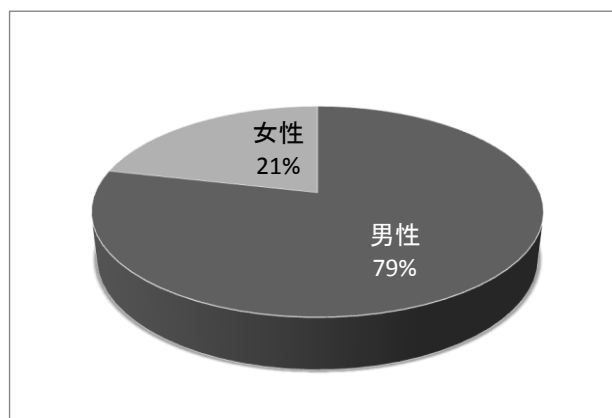
Q1 年代

	回答数
40代	5
50代	3
60代	84
70代	79
80代	5
未回答	1



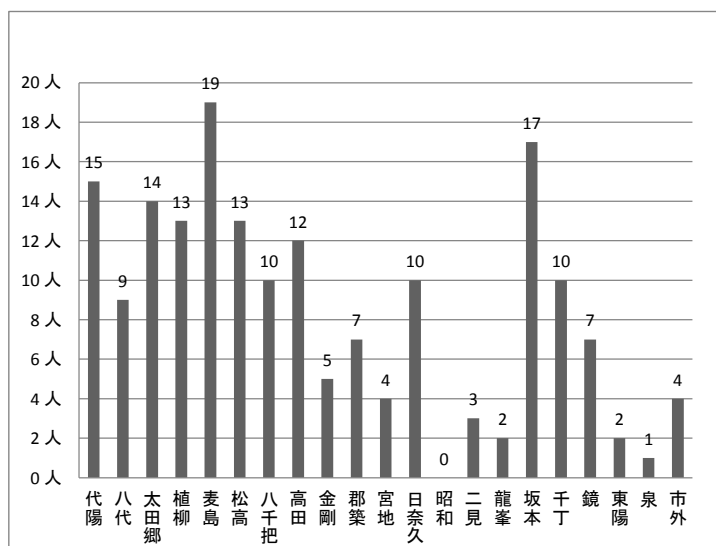
Q2 性別

	回答数
男性	139
女性	38



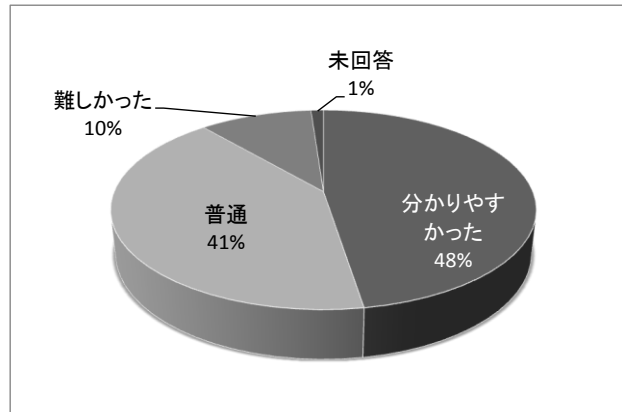
Q3 居住校区

	回答数
代陽	15
八代	9
太田郷	14
植柳	13
麦島	19
松高	13
八千把	10
高田	12
金剛	5
郡築	7
宮地	4
日奈久	10
昭和	0
二見	3
龍峯	2
坂本	17
千丁	10
鏡	7
東陽	2
泉	1
市外	4



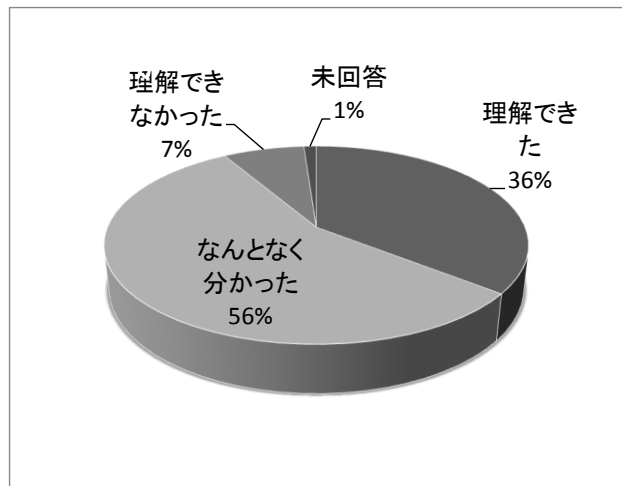
Q4 講演会の内容は

	回答数
分かりやすかった	84
普通	73
難しかった	18
未回答	2



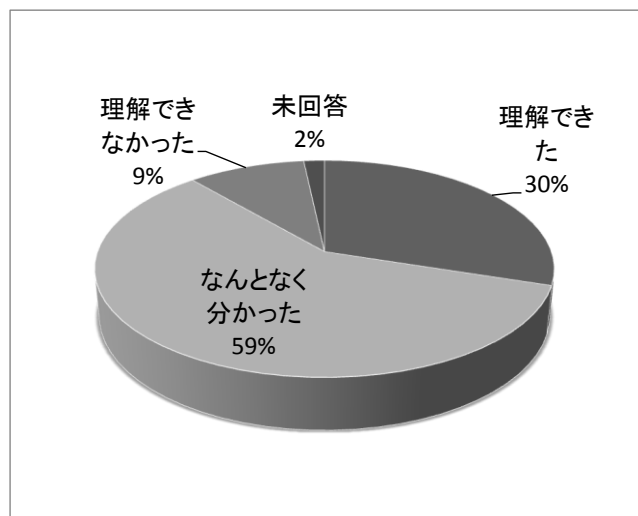
Q5 「市民協働によるまちづくり」について理解できたか

	回答数
理解できた	63
なんとなく分かった	99
理解できなかった	13
未回答	2



Q6 自治基本条例について理解できましたか

	回答数
理解できた	53
なんとなく分かった	104
理解できなかった	17
未回答	3



Q7 意見・感想

- ・何事も無理は長く続かないので無理のないことに参加する。
- ・過去の日本社会の各地域に見られた特に農業作業に溶け込んでいる姿そのままの形を言い表したものの
- ・改めて何をどうやるのか、ある程度やっていると思うのですが、行政の押付けのようで、もう少し勉強が必要。
- ・総じて話しをする事で現在まとめています。住民の方は気持的に参加したが一人一人の気持がわからず、出づら様です。引き出す事が大切です。
- ・自治会作りの必要性が理解出来協力する気持が強くなりました。
- ・講演会は意味がないと思う。
- ・今後の町作り(住民自治)に参考になりました。
- ・町内会費だけの収入で色々な活動費を支払っておられます。モデル校区で約8ヶ月がすぎ、スタッフさんが色々と工面して活動されています。体育祭等色々な事が住民自治会長を中心に進められているし、身近におられますので話がすぐつたわりよいと思います。自分分は町づくり、人づくりで。その為には資金も少しは。麦島校区は広告を、またはふれあい祭りの時に発売されるようにされたいと思います。大変だと思えますが。
- ・有意義な話しでしたが具体的に市の役割が分野。市民の役割分野を聴きたかった？
- ・まだまだ話し合いを続けなければ核心に入れないなと思いました。
- ・分かるような、分からないような、初めて聞く話しで若干難しかった。
- ・住民自治は市の予算的な問題の改善に大きく寄与することが期待できる。しかし、市行政の組織にどれほどの改善が寄与できるか市職員の多さにどれほど改善ができるか、疑問。
- ・荒尾市でも市民・行政を混えて作業部会を発足し、情報を共有しながら策定してきましたが、改めて思いをわかちあう事がいかに大切であるか確認できました。今日はありがとうございました。
- ・ご紹介いただきありがとうございました。
- ・私達も校区ではすでに取り組んでいる事が多く住民の協力も出来ている。私達の校区も来年度より準備について役立てたらと考えました。
- ・先生のお話を聞き、宮地では(私の町では)すでに近い活動をやっているような気がしました。
- ・いつも同じ人だけの参加で新鮮味ないと思っている。何をすることも同じメンバーで変わりようがない。
- ・今日の講演を参考に明日の八代づくりに頑張ります。
- ・住民自治基本条例を作成する時のひな型(他町内)などあれば後発として検討出来ると思いますが力を貸して下さい。
- ・解り易く、何となくではあるが、住民自治に加われるのが可能に思われてきました。
- ・情報の共有化(相互の情報提供)について、今後進めてみたい。
- ・自治は楽しく意味が少し理解できたようです。
- ・午後からの講演は眠気が来て駄目
- ・良い勉強になった。
- ・時間が少ない。沢山の時間の機会を設けていただきたい。
- ・名簿等の取扱いについて過剰反応すぎである。(個人情報保護法をタテにとる)ケースバイケースで検討すべきではないか。
- ・校区でまちづくりに取り組んでいるが、今までの説明で一番分かり易い内容の話だった。市民の多くが参加し進めて行きたい。
- ・発音がはっきりしないため聞き疲れすることがあった。理論的には分かったが、具体的な実施方法の話が欲しかった。
- ・7年前合併して大きくなったことなどで住民自治が必要になった部分はありませんか。老人会、婦人会民生委員(会)町内会各区の協議会等(資源ゴミ)でやっていることを組織化、文章化(明文)していく方法もあります。
- ・災害時に人工透析、心臓の悪い人等の情報を消防団、病院に連絡出来る様に横の情報共有をして欲しいと思います。
- ・お世話様でした。今後もこのような機会を作り市民参加が出来る体制を期待します。
- ・議会、役所と違い、不安定な組織に限界を感じる。多くを望むのは厳しい。
- ・もう少し簡単にわかりやすく話してもらいたい。
- ・自治会とは。行政とは。違うと思います。
- ・難しかったけど、理解出来ることがあった。
- ・学生に対する講義形式の様で理解しにくい。
- ・これまでの協議会準備の中では自治基本条例づくりの話はでてこなかったもので、これはみんなに話し合いのテーマとしてやっていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・住民自治を始めたとすれば当然会長、事務局長等が必要と思うがこの方の手当等はどうか、現地点の予算内では無理と思うがボランティアであるのか？
- ・今、八代が校区別に「まちづくり」を検討しているが、先生の話は若干違うかなという感じがしました。
- ・各地域にマッチした事を地区全員で考える私の考えも全くその通りだと確信しました。
- ・まちづくり協議会の規約がつくられている(本校区)が、それが今動いている住民自治協議会の自治基本条例と別のようなものなのか。八代市の全校区で自治基本条例をつくっていくのか。
- ・枝葉の話が多すぎるように感じた。

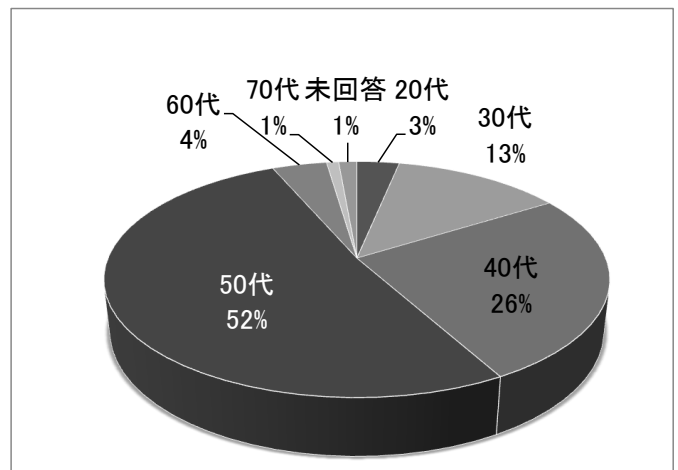
- ・「地域の力を引き出す」ために皆が一つになれたらいいなと思う。お金があっても、なくてもやるんだという言葉が力になりました。
- ・講師の方には、遠くより来ていただきありがとうございます。
- ・高齢者に負担を求め過ぎではないか！納税者から年金受給者で差別・若者の協力はどうか考えているのか。平日この様な機会をしても(いい)と思う。若者の参加がないのでは意味がないのでは。
- ・若い人に聞かせたかった。
- ・地域みんなが自由の思いの意見と出し合って取り組みたいものです。
- ・役所任せではなく自分たちのことは自分たちでできる限りやっていくなど、本当に理解できた。次の世代にバトンタッチできるよう頑張っていかなければならないと思う。
- ・良いアイデアがあった。我々も参考にして自治会を盛り上げるつもりです。誠にありがとうございました。
- ・講師がまじめすぎる。もう少しユーモアを。
- ・住みたい町にしていくのに市民協働は大切である。知恵がなえれば汗を出す心がけが大切である。
- ・千丁町では今日で4回目の会合に参加しましたらあまり理解ができていなかった。進み方が早くついているのがやっとなです。
- ・もう少し具体的な内容の説明があったらと思った。
- ・基本条例を制定するのであれば、住民の多くが参加できるシステムを考えて欲しい。また制定後でも柔軟に住民の意志で追加修正ができるようにして欲しい。
- ・講話を聴いてはじめて聞いた言葉もあったが20～30年後をみて会をやっていくことが大事と思った。
- ・これからの住民自治を頑張っていきます。
- ・活動準備資金が少ない(足りない)
- ・各校区の会議に抽選で人を出すということは、とてもよいと思いますので、ぜひ市役所も協力してください。
- ・早口すぎる。
- ・具体的にどうするのか今後の課題。できることがあると思います。その考えは問題を共有する人・場所をどうするのか。分かりやすい話でした。
- ・分かったような分からないような感じ。ただやればやっただけの効果はあるものとして継続することが大事かと？積極的に参加しなければいけないと感じた。
- ・映像がやや不鮮明であったのが残念。
- ・自治基本条例＝アメリカの由来の制度 大変参考になりました。
- ・見渡せば老人ばかり。次の世代を担う若い人にも参加できるように休日を選ぶべきでは。
- ・現在、国からの地方分権はすすんでいるのか。地方分権になって職員が対応できるのか。
- ・講演会の目的がいまいち分かりにくかった。この講演会を聞いてこれから何にどうつなげていくのか、つかみにくかった。
- ・植柳校区も住民自治準備委員会の真っ只中ですが、少しなりに理解ができました。戦前(昔)にかえて自分たちの町は自分たちでとの心構えでがんばらないと思いました。国にお金がない、県にない、市にないから地域は地域で、とのことですが、住民全員に理解してもらって住みやすい町に協力しなければならぬと思いました。
- ・参考になったと思います。

(2)職員・市議会議員対象

実施日	平成24年11月5日(月)、11月6日(火)	
出席者	292	
回答数	217	※職員278人(5日123人、6日155人)、市議会議員14人
回答率	74.32%	

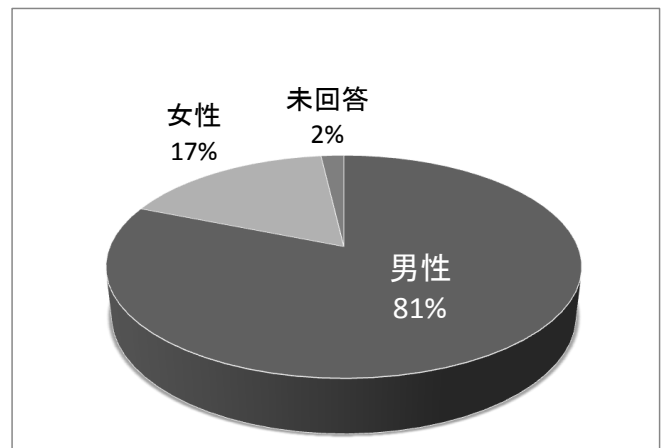
Q1 年代

	回答数
20代	7
30代	28
40代	56
50代	112
60代	9
70代	2
未回答	3



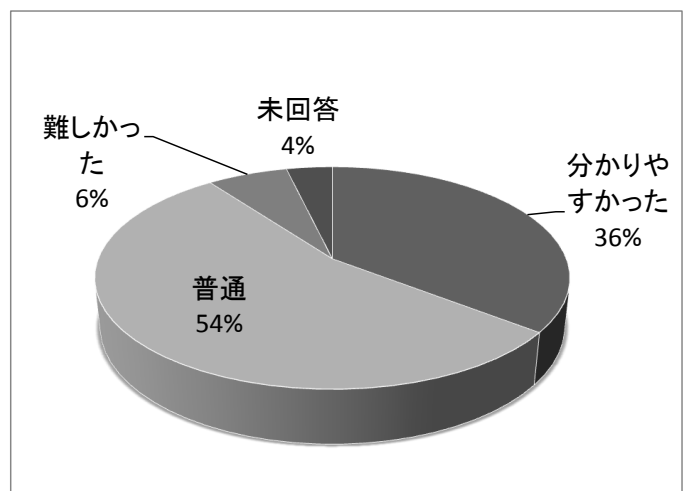
Q2 性別

	回答数
男性	176
女性	37
未回答	4



Q3 講演会の内容の理解度

	回答数
分かりやすかった	77
普通	118
難しかった	14
未回答	8



(その理由)

<分かりやすかった理由>

- ・パワーポイントの内容がよくできていた。
- ・具体的な話であったため。
- ・具体例を示されての内容だった。
- ・資料が分かりやすかった。
- ・頭の中でイメージしていたものを言葉として説明して頂いたような感じがしたので。
- ・具体的な事例をあげての話。
- ・「自治基本条例」という言葉が従来より柔らかく聞こえ、感じるようになった。
- ・パワポで要点が整理されていたから。
- ・具体的事例。
- ・実践してこられた話が解けたので。
- ・しかし、聞きとりにくい(音響の問題)。
- ・自分の考えを基に個々で考えることの「人、地域それぞれのやり方がある」。
- ・難局を乗り越える意味が分かりやすかったです。
- ・声が良かったので聞きやすかった。

<普通に理解できた理由>

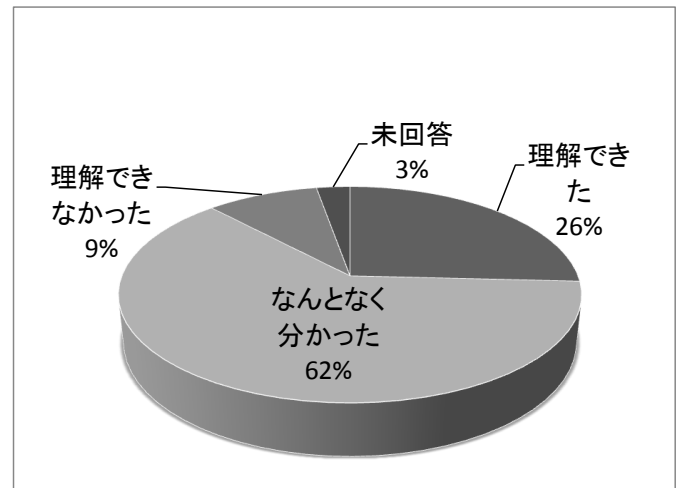
- ・声が聞こえにくかった。
- ・分かりにくかった。
- ・講演会というより、研修会、講師の話し方に引きつけられなかった。
- ・マイクの声がこもって聴きとりづらく、何を話しておられるかわからなかった。
- ・具体的な先例、事例が少ないと思う。
- ・聞き取りにくかった。
- ・もう少し具体的な例で説明してほしいかった。
- ・話が多少抽象的だった。
- ・「野球は9人でやろう」と何の関連もない。わかりにくい。
- ・具体例の詳細の説明が無かった。
- ・失敗例とかも紹介してほしいかった。

<難しかった理由>

- ・内容が難しく話(声)も聞きとりづらかったから。
- ・自治基本条例などいきなり聞きなれない言葉。
- ・話がそれでわかりにくい。
- ・抽象的な話だったので理解しづらかった。
- ・一般論ではなく八代の参考になる他市の事例を聞き取った。
- ・話が大きすぎて、唐突な感がある。

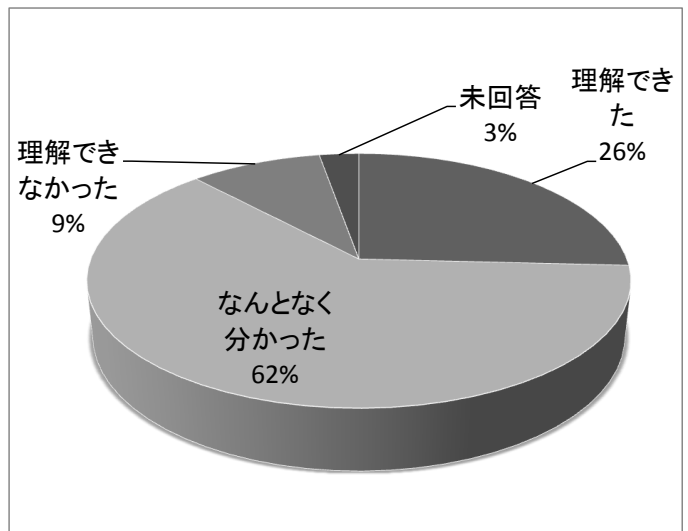
Q4 市民協働によるまちづくりについて理解できたか。

	回答数
理解できた	56
なんとなく分かった	135
理解できなかった	20
未回答	6



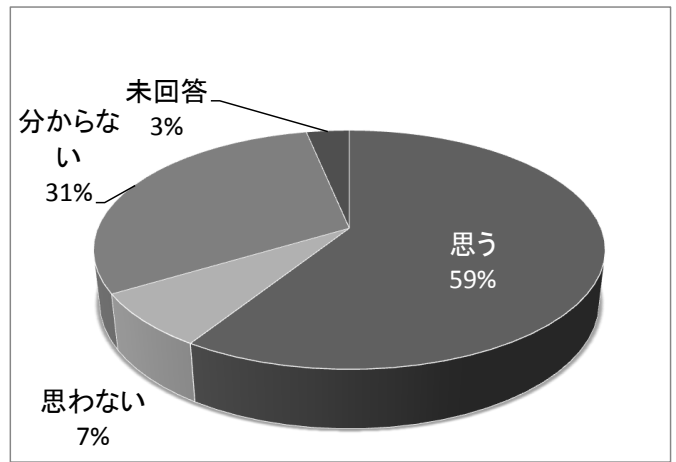
Q5 自治基本条例について理解できましたか

	回答数
理解できた	56
なんとなく分かった	135
理解できなかった	20
未回答	6



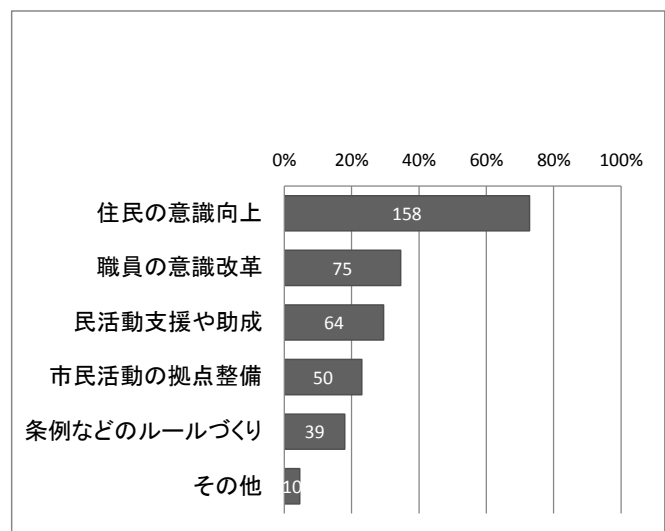
Q6 本市に自治基本条例は必要と思いますか

	回答数
思う	128
思わない	16
分からない	66
未回答	7



Q7 「協働のまちづくり」を進めるために、最も必要と思われるものはなんですか(複数回答可)

	回答数
住民の意識向上	158
職員の意識改革	75
民活動支援や助成	64
市民活動の拠点整備	50
条例などのルールづくり	39
その他	10



(その他の意見)

- ・市民との信頼関係づくり
- ・全市民の理解と協力
- ・必要ないと思うが、あえていえばすべての市民の意識の改革
- ・八代市の本気度
- ・もっと各地区単位での若人を含めた協働が必要である。
- ・教育水準の維持、就労人口の増加

Q8 意見・感想

- ・マイクの声が聞きとりにくかった(エコーがかかっていた)(はっきり聞こえなかった)
- ・音声が聞きとりづらかった。
- ・必要ないと思うので特になし。
- ・ただただ難しいなと思っている？なぜかと言うと国政がガタガタしているのに住民自治が進められるのか疑問である？
- ・音響が反響して聞きづらかった。
- ・市民1人1人の能力を引き出し、小さな地域の活力をつくっていく。それが市の活力源となることを希望する。そのための「自治基本条例」が市民の中で楽しく、希望を持ってつくり提案していくシステムも大事にしたと感じた。
- ・音響が悪い。聞きづらい。
- ・市民協働と自治基本条例は現状(八代市)を考えると別々に考えるべき問題であり、学者の話はよく分かった。
- ・声が聞きとりにくかった。
- ・もう少し分かり易い要点優先講演会であるべきと思いました。
- ・マイクの音が悪くて聞きづらかった。
- ・住民組織づくりについて、他の事例や役所の案などを暗にこのように決めるという方向で提示することのないように。
- ・早く取り組むこと。
- ・市としてどうしたいのが見えない。外部講師の一般論ではなく八代市がどうしたいのかが聞きたい。
- ・市民協働は大変なことだ後戻りできない、やらないと落ちこぼれる、10年～20年土壌から作っていく必要があると事で、まさにまちづくりそのもので簡単な事ではないと感じました。まず、私達が市民協働のやり方に「そうだ。これしかない」と感動するくらい理解しなければならぬと思いました。感動なくて人は変わらないと思います。
- ・他の考えの講師の条例に対する思いも聞きたいと思った。
- ・音声が聞きとりにくかった。(早口で何をしゃべったか、解らない)
- ・講演者に会場の音声を聴取しにくい環境になっていた事を申し訳ないと思いました。
- ・なぜ必要なのか。
- ・具体的な条例案もいくつか提示してほしいと思った。例えばどんな形のものがあるのか。
- ・資料の文字が小さかった。もっと具体的な事例がほしい。
- ・地域協議会設置前にすべき講演内容だと思いました。まず多くの市民に「市民協働」を理解していただく必要があろうかと思えます。
- ・これからの街づくりを考える講演会なのに、若い人は来ていない。高齢者ばかり。市民は仕事で忙しい。稼がなきゃならない世代。「地域のことは地域で」は理想だが、無理があると思う。時期尚早である。
- ・ポイントを絞って説明してもらったらもっと良いかと思った。事例から見た具体的な話をもっと聞きたかった。
- ・八代市では、スケジュールとしてH27年目標であるがあまり目標にとらわれず、じっくり検討しながら進めていただきたい
- ・前回の八代市の講師がわかりやすかった。
- ・講師に対象者とテーマは伝わっているのか。
- ・都市部と地方など地域の事情に応じて様々なやり方があると思いますが、本日の聴衆はすでに町内の活動に積極的に関わっている意識の高い人々であり、もっと具体的な事例、成功例をお聞きしたかった。高齢者ばかりの地域、非協力的な住民の扱い、など直面している課題に対して、自治条例が希望になるのか、よくわからなかった。講師の方には、もっと八代のことを知っていただいてからアドバイスしていただきたいかった。どの町にいてもできるありふれた話で新鮮味がない。八代のこれまでの蓄積があるのだから八代の課題が見えているはず。
- ・本市では市主導地域協議会設立をやっている段階で自治(住民主導)基本条例との関連がよくわからなかった。自治基本条例は住民主導で行うべきものであることから、住民を対象としたこのような講演会をもっと催すべきではないか。
- ・役所の中も一つの部(課)で取り組まないと市民は動かないと思います。関係課の横のつながりが重要と思いました。役所の職員が真剣に取り組まないと市民は動かないと思います。職員が変わることがまずスタートではないでしょうか。
- ・抽選方式というのは面白いと思った。
- ・そもそも、市民の側に立ってみて、自治基本条例を必要と思っているのであろうか。役所側の都合で「条例をつくろう」と誘導している面はないだろうか。その辺を慎重に見極めていく必要があると感じた。

3. 考 察

(1) 参加者の年代について

一般市民（以下「一般」という）の参加は60～70代で9割以上を占めた。これは講演会参加の呼びかけを、市政協力員や地域活動団体を重点的に行なったためと考えられる。

まちづくりにはあらゆる世代が携わる必要があること、若い世代にも参加をとの意見もあったことなどから、労働世代に参加しやすい開催日時の設定が必要と思われる。

(2) 性別について

一般市民および職員・市議会議員（以下「職員・議員」という）の参加ともに男性が約8割を占めている。更なる女性の参画が必要と考えられる。

(3) 講演会の理解度

「分かりやすかった」「普通に理解できた」については一般および職員・議員ともに約9割を占めた。

しかし、「分かりやすかった」については一般48%、職員・議員36%との結果となった。主な理由としては「具体的事例が欲しかった」「多目的ホールの音響が良くなかった」ためと思われる。

(4) 「市民協働によるまちづくり」についての理解度

「理解できた」「なんとなく分かった」について、一般92%、職員・議員88%と、概ね理解は得られたと思われる。

ただし、「理解できた」については、一般36%、職員・議員26%と10ポイントの差があることから、職員に対する理解を深めるために積極的な施策や先進地事例など具体的な事例を示す必要があると考えられる。

(5) 自治基本条例の理解度

「理解できた」「なんとなく分かった」について、一般89%、職員・議員88%と概ね理解は得られたと思われる。

= 明日の八代づくり講演会 アンケート =

◆あなたの年代

◆性別

_____ 歳代 男 ・ 女

◆お住まいの校区はどちらですか。(市外の方は市町村名をご記入ください)

_____ 校 区 ※市外の方は (_____ 市・町・村)

◆本日の講演会はいかがでしたか。

・ 分かりやすかった ・ 普 通 ・ 難しかった

◆市民協働によるまちづくりについて理解できましたか。

・ 理解できた ・ なんとなく分かった ・ 理解できなかった

◆自治基本条例について理解できましたか。

・ 理解できた ・ なんとなく分かった ・ 理解できなかった

◆ご意見やご感想などございましたら、ご記入ください。

(_____)

ご協力ありがとうございました。お帰りの際、回収箱へお入れください。

明日の八代づくり講演会 アンケート

◆あなたの年代

◆性別

_____ 歳代

男 ・ 女

◆本日の講演会はいかがでしたか。

・ 分かりやすかった ・ 普通 ・ 難しかった
(その理由 _____)

◆市民協働によるまちづくりについて理解できましたか。

・ 理解できた ・ なんとなく分かった ・ 理解できなかった

◆自治基本条例について理解できましたか。

・ 理解できた ・ なんとなく分かった ・ 理解できなかった

◆本市に自治基本条例は必要と思いますか。

・ 思う ・ 思わない ・ わからない

◆「協働のまちづくり」を進めるために、最も必要と思われるものは何ですか。

(複数回答可)

・ 条例などのルールづくり ・ 市民活動の拠点整備
・ 市民活動支援や助成 ・ 職員の意識改革
・ 住民の意識向上
・ その他 (_____)

◆ご意見やご感想などございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際、回収箱へお入れください